

事業番号	406
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	体育施設管理事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	スポーツ推進課							
	事業期間	平成18年度			～	平成30年度以降		担当係	スポーツ推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		19 スポーツ		5 スポーツ施設を充実する									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	6		目	2		大	3		中	2	
	根拠法令・個別計画	スポーツ振興計画														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	既存スポーツ施設の適正な管理を実施することで、より多くの利用を図る。														
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容 グラウンド用地の借地契約事務、地権者との調整、除草、トイレ掃除の業務委託等を行った。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳 除草委託(990千円)、温水プール利用促進事業委託[536千円) 体育施設設備保守管理委託[129千円)、ESCO事業委託(2,322千円)、 体育施設管理委託(339千円)用地借上料[27,665千円)、消耗品等(6,225千円)</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 除草委託(986千円)、温水プール利用促進事業委託[536千円) 体育施設設備保守管理委託[141千円)、ESCO事業委託(2,322千円)、 体育施設管理委託(340千円)用地借上料[27,943千円)、消耗品等(7,724千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	39,786	38,586	38,206	39,992	
		正職員	従事者数	人	0.30	0.30	0.30	0.30
			人件費	千円	1,599	1,599	1,599	1,599
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	41,385	40,185	39,805	41,591	
対前年比		%		97.1	99.0	104.4		
財源	一般財源	千円	41,385	40,185	39,805	41,591		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	ス	スポーツ広場グラウンド内除草作業	回	目標	3	3	3
実績				3	3	3	
ス	スポーツ広場便所清掃	回	目標	47	47	47	47
			実績	47	47	50	
ス	スポーツ広場用地借上げ	㎡	目標	13,974	13,974	13,974	13,974
			実績	13,974	13,974	13,974	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	スポーツ広場利用状況	件	目標	—	—	—	—
実績			3,571	3,578	4,233		
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	毎年定期的にスポーツ広場の除草を、スポーツ振興会や地元管理組合に委託し、H24年度も例年通り実施できた。				
		事業実施における課題	近隣の工場等からボールが工場の敷地内に飛び込む等の苦情がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	除草等の管理委託は、スポーツ振興会で行うことにより最小の経費で管理している。廃止をした場合、ニーズの高いグラウンドが不足する。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	経費節減のため、グラウンドで使用する石灰の支給を廃止した。				
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	スポーツ広場の除草、便所清掃等の管理委託ができた。また、スポーツ広場の借地の維持もできた。					
	26年度以降の改善案	スポーツ広場で利用者に無償で提供していた石灰を廃止し、利用者が必要に応じて石灰を持参する方式に変更したが、運搬の負担が大きいとの意見があるので、石灰の管理方法について検討する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。